

文化祭 1 年生学年発表（10月19日）

10月19日（水）、延期になっていた文化祭の1年生の発表が行われました。10月7日の後も、1年生はテスト前の期間もありましたが、ずっと練習を重ねてきました。そうやって迎えた本番は、1年生第49期生としての団結力と、溢れるパワーが感じられる素晴らしい発表だったと思います。

まず「マイバラード」は、毎年1年生によって歌い継がれてきている伝統の1曲ということで、2年生、3年生も食い入るように聞いていました。今回の発表をもって、4月に2年生の先輩から聞かせていただいたこの曲を、確実に引き継いだと言える出来だったように思います。来年入学してくる新入生にも今回のような歌声を聞かせ、伝統のバトンを渡して行ってほしいと思います。

1年生は男子の割合が他の学年に比べて高く、合唱を美しく聞かせるためのバランスを取るのが難しいのですが、女子は少ない人数ながらも懸命に声を出し、2つのパートの音もきれいにハモらせて、全体として非常に調和のとれた合唱を作りあげていたように思います。

群読では、入学からの半年を振り返り、その時々生徒たちの様子が目に浮かぶようでした。自分たちの課題についてもきちんと述べており、これからめざす学年の姿がイメージできるものだったように思います。また、群読から合唱への流れが自然で、発表としての統一性も感じられました。

そしてもう一つの合唱曲「未来へのステップ」は、アップテンポで弾むようなリズムの中、1年生らしいハツラツさが溢れていて、聞く側に元気を与えてくれました。「今ここにいること、仲間と出会えたこと、振り返ればすべて懐かしい思い出になる」という歌詞は本当にそのとおりで、生徒たちにとって今回歌った曲やこれまで仲間と頑張ってきたことは、人生のかけがえのない思い出となるにちがいないと思います。

2年生、3年生も、発表はありませんでしたが、後輩のために、会場準備を手伝ってくれ、そして真剣に発表を鑑賞し、温かい応援と拍手をしてくれました。仲間の発表を「心」でしっかり受け止められる、そんな生徒たちの姿勢も本校の大きな財産であると、今回改めて実感した次第です。

平日に加え日程変更したにもかかわらず、当日はたくさんの保護者の方々にご来校いただきました。本当にありがとうございました。

